



# 歴史を残す～マイクロフィルム

マイクロフィルムとは、紙文書等の情報を専用のフィルムに縮小撮影したもので、一般的な写真撮影用のフィルムに比べ高解像度を持ち、情報の省スペース性もあり、適正な管理をすれば100年から500年も保存できるといわれています。



また、改ざんが困難で、規格・撮影方法等がJISやISOにより統一されているため互換性の点でも優れています。

当館では、資料の保護、保存の観点から歴史的公文書、古文書、複製古文書及び新聞（川崎版）のマイクロフィルム化を進めています。



原文書を慎重に一枚一枚にほどき、撮影後元の状態に製本しなおします。



出来上がったマイクロフィルムです。  
1巻あたり約500コマ撮影されています。

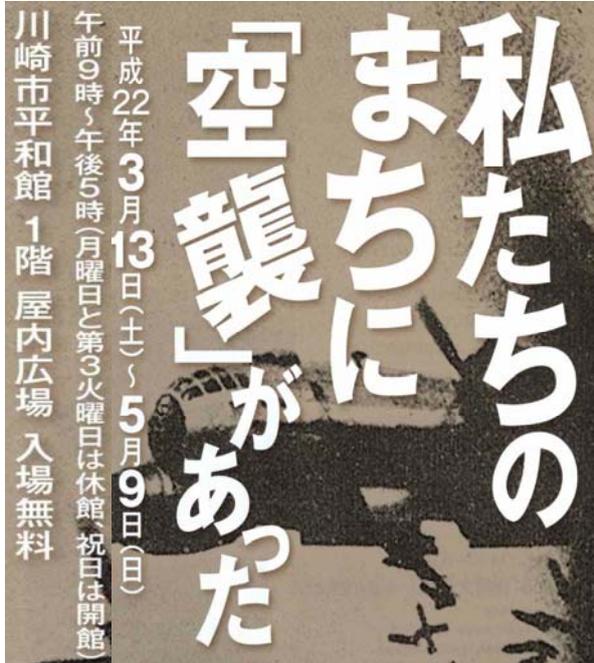
マイクロフィルムは、現在、資料保存の観点から整備を進めていますが、新聞（川崎版）資料については、マイクロリーダーで閲覧できます。



撮影は、専門業者のカメラマンが、公文書館内に設置した撮影ブースで行います。

平和館・公文書館共催

# 川崎大空襲記録展のお知らせ



## 平成22年度の予定

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 3月～5月       | 平和館共催<br>「大空襲記録展」 |
| 9月          | 入門古文書講座<br>(全3回)  |
| 11月         | 歴史講座 (全3回)        |
| 11月<br>～12月 | 初級古文書講座<br>(全4回)  |
| 同           | 館内小展示             |
| 1月<br>～2月   | 中級古文書講座<br>(全4回)  |
| 同           | 館内小展示             |
| 3月          | 歴史講演会 (1回)        |

なお時期未定ですが、市役所、区役所での展示を予定しています。



## こもんじょの種 ④ ～ 江戸時代は、御家流? ～



江戸時代の文書には「候文(そうろうぶん)」という独特の文章が用いられていました。くずし字を解読するには、この「候文」に慣れることも必要です。今回は、書道様式「御家流(おいえりゅう)」について説明したいと思います。

「御家流」とは、和様書道の流派の一つで、青蓮院流(しょうれんいんりゅう)または尊円流(そんえんりゅう)とも呼ばれ、鎌倉時代に青蓮院門跡尊円法親王(伏見天皇の第六皇子)が創始した流派を源流としています。この流派は、室町時代には和様書道の本流となり、またそこから数多くの書流が生まれ、江戸時代はじめにはなんと50以上の流派に分かれていました。

江戸時代前期、この流派の書き手であった真言宗の僧松花堂昭乗(しょうかどうしょうじょう)が江戸に招かれ、幕府の右筆(ゆうひつ)に書法を伝えたことから、御家流が幕府の公用書体に用いられるようになりました。

庶民教育にあたって、江戸時代は御家流で書かれた往来物などの刊行物が寺子屋で用いられたため、全国的に普及し大衆化していきました。

候



## 今月の公文書館



竣工400年を迎える「二ヶ領用水」沿いは、1月下旬から河津桜・梅・桃・桜の花々の競演が始まるお散歩ロードです。府中街道を渡る手前には、明治時代「宮内学校」（現在の中原小・宮内小の前身）があった「高願寺」があります。

さて、その向い、常緑の「オオイタビ」をまとった公文書館では、市政資料や複製古文書の閲覧ができます。花をめでた後、川崎の歴史をひもといてはいかがでしょうか。



### ◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

### ◇休館日

毎週月曜日

国民の祝日（国民の祝日が月曜日の場合は翌日）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

### ◇利用方法

市政資料室の資料は自由にご閲覧いただけます。それ以外の資料は、目録で検索し、事務室に申し出てください。ただし、資料の外部への持ち出しはできません。

資料等の複写サービス（実費）は、館内のコピー機がご利用いただけます。

公文書の閲覧については、情報公開制度により行ないます。

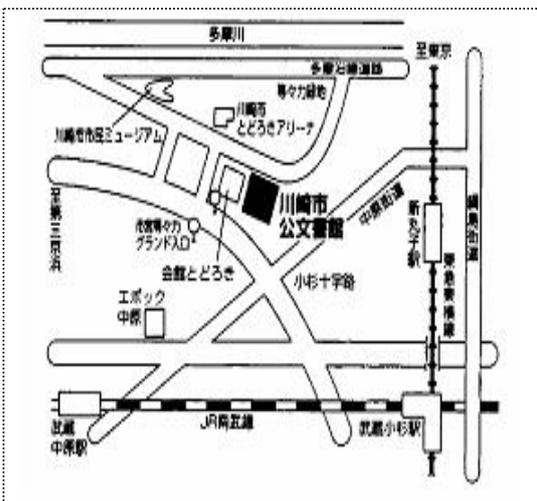
### ◇交通のご案内

#### 【バスの場合】

- JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」バスターミナルから市バス・東急バスとも「市営等々カグラウンド入口」下車すぐ
- JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線「溝の口駅」駅前（北口）から市バス・東急バスで「市営等々カグラウンド入口」下車

#### 【徒歩の場合】

- JR南武線「武蔵中原駅」から約15分・「武蔵小杉駅」から約20分
- 東急東横線「新丸子駅」から約15分



### 川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933

FAX 044-733-2400

E-mail 16koubun@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/16/16koubun>

公文書館にある複製古文書は、所蔵者の許可を得て公開しているものです。閲覧の際は、取扱いに十分な注意をお願いします。

